

# バックナンバー

## (特集一覧)

**2019**  
(Vol.30)

**11月号 (No.11)** 血液浄化療法をめぐる最近の話題

篠田俊雄 編

- アルブミン漏出量を安定させる濾過法  
一定圧濾過、定速濾過、濾過/置換コントロール—  
田岡正宏
- 間歇補充型血液透析濾過 (I-HDF) における  
適正な補充量と頻度  
長尾尋智ほか
- オンライン HDF におけるドナン効果は  
後希釈法で増強し、前希釈法では減弱する：  
Na 出納の数理モデルによる定量的解析  
篠田俊雄
- いわゆる「非自己管理型在宅血液透析」の問題と  
在宅血液透析管理マニュアルの改訂について  
山川智之
- 透析医療機関の酸性排水による  
下水道管損傷とその対策  
穴戸寛治

**12月号 (No.12)** 今求められている病院内の電波管理  
—総務省が進める電波管理の具体策とグッドプラクティス—

加納 隆 編

- 総務省による病院内電波管理の推進  
加納 隆
- 医用テレメータにおける諸問題と具体策  
臨床現場から  
藤井清孝  
テレメータ企業から  
椎野雄介
- 無線 LAN における混信対策  
実際の病院における運用と対策  
山下芳範  
無線 LAN 企業から  
松口幸弘
- 携帯電話における諸問題と具体策  
スマートフォン導入による院内通信環境の整備と  
臨床工学技士業務の改善  
原田 学  
病院内での携帯電話遮蔽対策による  
安全性と利便性の向上  
近藤克幸
- 病院内電波管理体制の構築  
事例①  
石丸茂秀  
事例②  
松田真太郎ほか

## [関連記事]

- ・ JEITA「小電力医用テレメータの運用規定」の  
見直しについて  
平野 知
- ・ 総務省が進める電波遮へい対策の取り組み  
渡邊修宏
- ・ 病院内の電波問題を解決する新技術  
—次世代 PHS「sXGP」—  
播口仁朗

**2020**  
(Vol.31)

**1月号 (No.1)** 臨床工学技士と災害対策 2020

廣瀬 稔 編

- 医療機関での BCP の必要性和  
策定時に考慮すべきポイント  
江島 豊
- 臨床工学技士からみた BCP の考え方  
—透析関連を中心に—  
高橋良光
- 北海道胆振東部地震の経験から  
大規模停電—ブラックアウト—における  
透析センター稼働不能への対応  
高橋直紀  
透析患者受け入れへの対応  
千葉二三夫ほか

- 西日本豪雨の経験から  
断水による水不足への対応  
近藤隆司
- 透析室の浸水・土砂災害対策  
—装置設置の面から—  
森上辰哉
- 災害を想定したシミュレーション訓練  
—臨床工学技士参加の重要性—  
島田俊樹
- 日本透析医会災害時情報ネットワーク  
—情報伝達システムの概要—  
岡田直人ほか
- 日本医療機器販売業協会が取り組む災害対策  
—流通の立場における東日本大震災の経験より—  
五嶋淳夫
- 設備設計者からみた災害対策で考慮すべき病院設備  
自然災害の教訓を踏まえた医療施設の BCP  
鈴木明文  
BCP を考慮した電源システムの計画ポイント  
川合満男  
供給を維持するための医療ガス設備における BCP  
岡田 正

## [関連記事]

- ・ 日本災害時透析医療協働支援チーム (JHAT) の活動  
山家敏彦
- ・ BCP 対策のための UPS の選定  
筒井慶枝

**2月号 (No.2)** 麻酔のすべて【前編】  
—麻酔器の構造・機能—

磨田 裕 編

- 麻酔器の基本的構造  
佐川雅俊
- 気化器  
藤本正弘
- 麻酔器用の人工呼吸器と呼吸回路、呼吸バッグ  
西方貴洋  
笠野靖代
- 二酸化炭素吸収装置と二酸化炭素吸収剤  
■ APL 弁 (pop-off バルブ) および  
麻酔ガス排除装置の構造と役割  
南谷克明
- 麻酔器における各種安全機能  
鈴木茂樹
- 麻酔器始業点検の実際  
塩田 隆

## [関連記事]

- ・ 麻酔ガスモニタ  
佐々木雄一
- ・ なぜ、亜酸化窒素 (笑気) 使用症例は減少したのか？  
武井寛英

**3月号 (No.3)** 麻酔のすべて【後編】  
—麻酔科医の役割・業務—

磨田 裕 編

- 麻酔科学史  
菊地博達
- 麻酔の基本  
木田達也
- 麻酔で使うおもな薬  
木田達也
- 麻酔科医の仕事  
丸山晃一
- 麻酔中のモニタ  
川島征一郎
- 周術期管理チームの実際  
落合亮一

## [関連記事]

- ・ 全身麻酔薬はどのように作用するのか  
安藤富男
- ・ 麻酔記録用紙のみかた  
大鹿博之
- ・ 麻酔の合併症—悪性高熱症 (MH)—とは  
市原靖子

**4月号 (No.4)** 透析排水の諸問題とその対策

峰島三千男 編

- 透析排水による下水道施設の損傷事故  
高橋明宏
- 2019 年版 透析排水基準  
峰島三千男
- 適正な排水管理  
内野順司
- 適正な洗浄・消毒剤の選択と使用  
星野武俊ほか

[関連記事]

・関連法規—下水道法、水質汚濁防止法—

阿瀬智暢

5月号  
(No.5)

## 医工連携を実践するために必要なこと

百瀬直樹, 加藤博史 編

- 医工連携へのアクセス—各地域での参入事例— 関根広介
- 医工連携を進めるに当たり知っておくべきこと
  - 秘密保持・知的財産・契約— 吉田哲也
- ニーズの探索とニーズステートメント 西垣孝行
- ニーズの絞り込み
  - ニーズを選択しコンセプトを創造する— 加藤博史
- ものづくり企業を知ることの重要性 西 謙一
- こうすればよかった事例
  - 開発に必要な4つのS— 吉岡 淳

[関連記事]

- ・医療機器などの開発チームに必要なメンバーとは
  - 臨床工学技士はメンバーにふさわしいか— 野沢義則
- ・医療機器開発の人材育成事業における臨床工学技士の役割 市之瀬 透

6月号  
(No.6)

## 在宅医療と臨床工学技士

廣瀬 稔 編

- 在宅医療における臨床工学技士の役割 肥田泰幸
- 在宅医療における各領域での現状と問題点・今後の方向性
  - ・在宅血液透析 森實篤司
  - ・在宅人工呼吸療法 南雲大樹ほか
  - ・在宅酸素療法
    - メーカにおける機器の保守管理の実例— 長峰亜莉紗
- 在宅医療機器の現状と臨床工学技士が取り組んでいる患者管理 大谷哲也
- 在宅医療機器における通信技術の活用—遠隔モニタリングシステム— 川邊 学
- 在宅医療を考慮した屋内配線システムの必要性 奥村雅美

7月号  
(No.7)

## 現代の若年層に合わせた育成法を考える

工藤元嗣, 山田紀昭 編

- 新人層が指導者に求める指導のあり方と新人が意識すべき7箇条 伊藤仁弥ほか
- 学生から教員, 新人から上司・先輩に対するコミュニケーションのあり方 中島章夫
- 上司・先輩から新人に対するコミュニケーションのあり方 百瀬直樹
- 新人指導の実践例 藤井清孝
- 新人のやる気を引き出すメンターシップ
  - 現代の若年層に合わせた支援型の新人指導— 工藤元嗣
- 仕事の教え方
  - TWIの仕事の教え方の4段階— 山田紀昭

8月号  
(No.8)

## 手術支援ロボットと臨床工学技士—多職種連携でチーム医療を実践する—

廣瀬 稔 編

- ロボット支援手術導入時の臨床工学技士の役割
  - 臨床工学的観点を踏まえて— 紺野光鶴ほか
- ロボット手術時の臨床工学技士の役割
  - 支援業務および日常点検の実例— 千葉二三夫ほか
- ロボット支援下手術時のトラブルとその対策 松上紘生
- 手術支援ロボット安全使用のための医療現場における教育の実例
  - ・ロボットの性能を十分に発揮させるために 又吉 徹
  - ・常に新しい教育システムの構築 小原大輔

9月号  
(No.9)

## 質の高い呼吸管理を目指して

磨田 裕 編

- 呼吸管理に必要な胸部X線写真とCTの知識 新井正康
- 人工呼吸管理中の合併症 藤本潤一
- 気管チューブのカフ圧管理 大塚将秀
- ウィーニングはどのように進めるか 古田島 太
- 臨床工学技士としてウィーニングプロトコルをどのように運用するか 相嶋一登

10月号  
(No.10)

## 新型コロナウイルス感染症とクリニカルエンジニアリング

篠田俊雄, 峰島三千男 編

- 新型コロナウイルス感染症
  - その臨床像・検査法・感染対策を知る— 森兼啓太
- ICUにおける新型コロナウイルス感染症治療の最前線 市場晋吾
- ICUにおける感染拡大第1波対応から得られた教訓
  - ①人工呼吸器使用における臨床工学技士の立場から 五十嵐義浩
  - ②体外式膜型人工肺 (ECMO) 使用における臨床工学技士の立場から 百瀬直樹
- 透析領域における新型コロナウイルス感染症
  - 現況と感染対策— 菊地 勲
- 透析領域における感染拡大第1波対応から得られた教訓
  - ①2009 新型インフルエンザ (A/H1N1) 流行との違い 篠田俊雄
  - ②看護師の立場から 谷口弘美
  - ③臨床工学技士の立場から 大久保 淳
- 新型コロナウイルス感染症に対する日本臨床工学技士会の取り組み 本間 崇ほか
- 臨床工学技士養成施設における新型コロナウイルス感染対策の取り組み 中村新一
- 経済産業省における人工呼吸器確保の取り組み 吉田哲也
- コロナ禍に対する医工連携における取り組み
  - 飛沫曝露防止キットの開発— 野口裕幸